

2018年4月26日

千葉県知事 森田 健作 様

第一生命保険株式会社
代表取締役社長 稲垣 精二

平成 29 年度活動状況報告書

平成 29 年度の活動について下記の通り報告いたします。

記

I. 高齢者の見守り

昨年度に引き続き、成田支社管轄内の 11 市 7 町（佐倉市・八街市・東金市・四街道市・銚子市・香取市・匝瑳市・旭市・成田市・富里市・山武市・九十九里町・横芝光町・芝山町・多古町・東庄町・神崎町・酒々井町）を中心に、そして成田支社以外の県下 3 支社にも適宜活動を連携し活動範囲を広げながら、日々の地区訪問活動等を通して女性ならではの視点を生かし、地域の高齢者の見守りに取り組んでまいりました。

成田支社においては、毎月 1 日を高齢者見守り活動進発日と定め、特にこの日は改めて生涯設計デザイナー一人ひとりが「高齢者が安心して暮らせる地域社会づくり」という目的を再認識する日として、70 歳以上のご契約者宅への定期訪問や地域の見守り活動を積極的に行っております。

活動も 4 年目に入り、今年度に報告のあった高齢者見守り・救助事例等は別紙にて提出のとおり、報告されただけでも 80 事例を超えております。これらの報告以外にも一人暮らしの高齢者を見守っていることへの別居ご家族の感謝の声は毎月たくさん寄せられて、地域の皆さまのお

役に立てていることを実感しております。

見守り事例「感謝の声」より抜粋



年月	見守り事例
H29.7月	オフィス前の道をお花やスーパーの荷物を両手いっぱい下げた高齢の女性が暑い陽射しの中を歩いていました。あまりにも大変そうでしたので「どこまで帰るのですか？とお声を掛けたら、歩いては帰れない距離で、1時間半くらい待てばバスがくるので、バスで帰ります。」とおっしゃいました。そんなに待つのでは…ご自宅まで送りますか。」と言ってお送りしたところ、後日、オフィスに御礼のお電話をいただきました。
H29.11月	一人暮らしのお客さま宅に定期的に訪問していて、先日近くまで行った際にお寄りした所、熱を出してひとりで寝ていました。病院に行くのもおっくうでタクシーを呼ぶのもめんどろだというので、行きつけの病院まで乗せていき受診したところ、風邪だったようで大事に至らずホッとしました。数日後、お電話が入り「玩気になったから来て」というので伺ったら、本当にありがとう」と感謝のお言葉とお菓子をいただきました。
H29.12月	地区訪問中に道に迷われて困っている高齢の女性がいたので、お家の場所を伺い地図で調べたのですが、少し遠かったのでご自宅までお送りしました。その方は少し前に目の手術をされて、目もよく見えないので道に迷われたそうで、家に着くと涙を流して手を握ってくださり、ありがとうございますととても感謝されました。これからも困っている方がいたら、積極的に声を掛けたいと思います。
H30.2月	仕事から帰る途中、雪が残っている路肩を80歳過ぎくらいの女性が杖をつきながら、荷物を持ち、ヨタヨタ歩いているのを見かけ、夕方でも日暮れる前だったので、気になりお声をかけました。住んでいる町名を聞くとご自宅とは反対方向に歩いていて、バスを待っていたけど来ないから歩きだした。でもどこを歩いているのか、ここがどこなのかわからなくなってしまった…」との事。ご自宅の番地も言えなくて、覚えているコンビニを目安に、なんとかお家まで送ってさしあげる事ができました。多少認知症の症状があったのかもしれないので、送り届けられてよかったです。

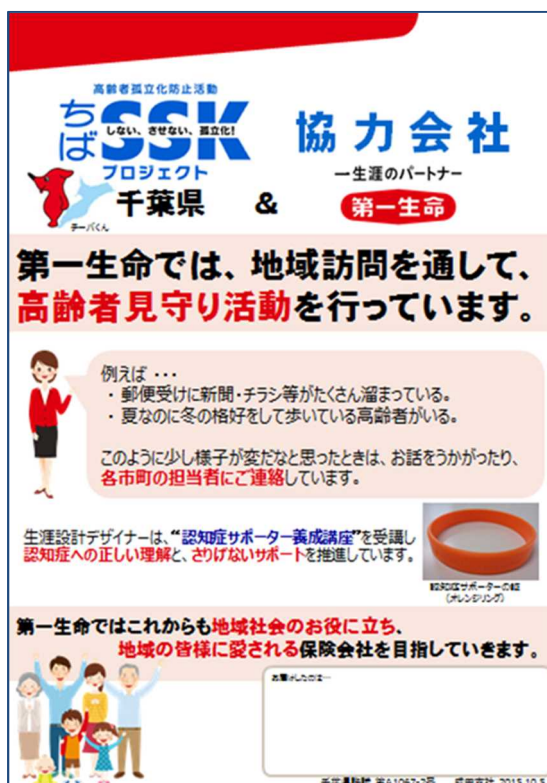
県内の各市町村との「高齢者見守りネットワーク」協定の締結におきましては、2018年3月末現在で、14市5町と締結しております。

II. 「ちばSSKプロジェクト」の普及

『私たちは高齢者を見守っています』と書かれた、ちばSSKプロジェクトのロゴ入りネームホルダーを社員は常に身につけて活動し、地域に幅広く高齢者見守りについての認知度を高め、更に高齢者見守り活動を行っていることを地域の方々にお知らせするためのチラシも、県のちばSSKプロジェクトのチラシとともに配布するなど、「ちばSSKプロジェクト」の普及啓発に日々努めております。

チラシ ↓

ホルダー ↓



Ⅲ. 認知症対策

認知症サポーター養成講座の受講につきましては、今年度も7月に開催、今までの467名（退社した社員も含む）に加え、さらに48名が認知症サポーターとなり、成田支社においては、全社員が認知症サポーターです。

また、認知症徘徊SOSネットワーク事業の取組のある自治体とも徐々に締結しております。

Ⅳ. 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

一人暮らしの高齢者のお話し相手や日常のささやかなお手伝いをすることで、一人ではないことを実感いただけていることを、日々の感謝の声から伺えます。

また、健康診断の受診率の向上を地域の皆さまに推進しており、がん検診においても受診おすすめチラシを配布して、積極的にがん検診の啓発に取り組んでいます。

V. 高齢者の安心・安全

毎月、生命保険協会千葉県協会を通じて送付される「千葉県警察からのお知らせ」を活用し、オレオレ詐欺の未然防止に向けての地域への声かけにも力をいれて活動しております。

高齢者宅訪問時、過度な宅配物等が置かれているなど、特に不審な情報は見受けられませんでした。引続き、被害の未然防止に努めます。

見守り事例「感謝の声」より抜粋



年月	見守り事例
H29.7月	訪問したお客さまのお話中に、お客さま宅の電話が鳴りました。 お客さまの様子がおかしいので、保留にしようとしたのか聞いてみると、息子の名を名乗っているけど、声の感じが全く違う、なんか変だわ…」と言われたので、対応せずに電話を切るように言いました。あなたが居てくれたから冷静に対応できた」と青ざめていました。 今回はたまたまでしたが、独り暮らしをされている年配の方はいつも色々な不安の中、過ごされているんだろうなと思い、日々高齢者のお宅を訪問したりしてみんなで見守ることの大切さを改めて感じました。

以上